

コンピュータの歴史について…いわゆるコンピュータを、1642年にパスカルは19歳で開発をしています。『パスカリーヌ』という、手動・歯車式の演算装置です。

その後おおよそ300年の時を経て、1946年、電子コンピュータ実用機1号がイギリスで開発されました。真空管を18800本使った、弾道計算用『エニアック』です。さらに40年ほど時を経て、私が大学を卒業した1985年頃、NEC製パソコンPC9801が市中に流通。コンピュータの心臓部・中央演算処理装置[CPU]は、1000分の3ミ(3μm)中で配線された、16桁の2値化データを一度に演算できるモノでした。

そして現在、私たちが利用するパソコン・スマホは、40年前の約300分の1、巾が100万分の10ミ(10nm)で配線され、64桁の2値化データを一度に演算できる[CPU]が搭載されたものに進化しました。40年前のパソコン(PC9801)100万台相当の能力を有し、民主党政権下で事業仕分けされそうになった『スーパーコンピュータ京』相当の実力を持っています。

変わる当たりの代表格[CPU]が、私たちの生活の利便性をどのように向上するのか楽しみでもあり、一方で大量の電力消費は地球温暖化の一因となり気がかりでもあります。

時を経ても変わらぬ当たり前が私たちの手元にあります。「理念や信条」といった本質です。ロータリーで学ぶことの多くは「本質」です。

良質な「変わる当たり前、変わらぬ当たり前」を次世代に繋いでいきたいと思います。

卓 話

「ポリオ & PPS & ロータリーカードについて」

●RI2680 地区ロータリー財団委員会 ロータリーカード推進小委員会 委員長
ポリオプラス小委員会委員・資金推進小委員会 委員
社会奉仕委員会 委員長
喜多 美雄様（加古川中央 RC）



イスラエルとの戦争によって一番被害を受けているのがガザ地区の子供達です。又、WHO の調査でガザ地区の下水道からからワクチン由来のポリオウイルスが発見され現時点で 1 名の子供にポリオ感染が確認されました。今後ガザ地区を注視する必要があります。

25 年ぶりにガザ地区でポリオの感染が確認され、9 月 1 日からワクチン接種が開始されました。

ユニセフ、国連パレスチナ難民救済事業機関、WHO が 10 歳未満の子供 64 万人にワクチンを接種する活動を開始して、3 日間で 18 万 9000 人以上の 10 歳未満の子供にワクチン投与が完了しております。

最新の情報では 10 月 14 日から 2 回目のポリオワクチンの接種が始まりその間は、停戦が合意せれましたが、停戦は、実現されませんでした。

集団予防接種では、まだ残り 2 段階の投与とウイルスまん延を止めるためには対象人口の 90%を予防接種する必要があります。

ガザ地区では紛争が始まるまではポリオ予防接種率が 99%以上でしたが、紛争が始まり、接種率が下がったことで集団免疫の低下となり、発症に至っております。

財団室ニュース 9 月号にも掲載されておりますとおり、8 月 27 日時点でパキスタン 21 名、アフガニスタン 19 名の発症が確認されております。RI では毎年 5,000 万ドルを集めるファンドレイジングを行っています。ビル&メリンダゲイツ財団とのパートナーシップによりロータリーからの 5,000 万ドルの寄付に対して、**2 倍の額の寄付**がゲイツ財団から**上乘せ**されますのでポリオ基金にご寄付をお願いいたします。

ポリオプラスソサエティ PPS の説明

ポリオプラスソサエティとは毎年 100 ドルをポリオにご寄付頂くお約束をしていただくシステムです。

矢坂年度では皆様方に 1 年間で 40 ドルの、目標をお願い申し上げます。

あと 60 ドル（1 ドル 150 円としたら）約 9,000 円プラスしていただくだけで達成いたしますのでご負担を少ないかと思います。是非、ご参加お願い申し上げます。

ロータリーカードに付きましたは、本年度ダイナースクラブカードを各クラブでお申し込み頂きます様をお願い申し上げます。クラブカードでマイロータリーにアクセスし PPS のお支払いも簡単にできます。又、カードを使用して頂くだけで 0.3%がポリオにご寄付頂けます。

ダイナースカード、ロータリーオリコカードのお申し込みも 2680 地区のホームページにバナーを設けていますのでバナーをクリックして頂くだけでお申し込み画面に飛ぶ事が出来ます。

ダイナースカードはお申し込み用紙を入手して頂けますのでそちらからお申し込みになります。

ポリオ根絶までは決して資金を止めてしまうことはできません。皆様のあたたかい募金がポリオをこの世から根絶することを願い根絶宣言が出るまで、ポリオプラス基金にご協力を

お願いします。年次基金からは寄付されませんのでお間違えの無いようよろしくお願いします。

最後になりますが、ポリオプラスの寄付ですが、ポリオプラス寄付と指定して寄付していただくようよろしくお願いします。



ポリオとはどんな病気か

- ・ポリオ：急性灰白髄炎といういわゆる小児まひという病気（乳幼児がかかることが多い病気）
- ・ポリオは、ポリオウイルスが人の口の中に入って、腸の中で増えることで感染する。
- ・増えたポリオウイルスは再び便の中に排出され、便を介してさらに人に感染する。
- ・ポリオに感染すると、熱を伴うかぜのような症状から、足腰の痛み、そして突然手足の弛緩性（しはんせい）まひが現れ、生涯にわたり運動障害が残ることの多い病気。



予防接種にかかる費用（ユニセフの支援例から抜粋）

- ・経口ポリオワクチン10回分（198円）64万人に接種(25,344,000円)
- ・ワクチン用保冷箱1個（2,240円）
「運搬が困難な地域にも熱に弱いワクチンを一定の温度に保った状態で安全に運ぶことができる」
- ・予防接種用ワクチンを保管するために使用される太陽光発電の冷蔵庫台（533,005円）
- ・予防接種ワクチン保管用保冷室10㎡ 1台（2,901,315円）
- ・その他予防接種員・広報活動費用・運搬車両・ボランティアの支援・接種を受けていない子供を探す費用・さまざまなことに資金が必要



ポリオ根絶への道のり

- ・世界ですべての子供にワクチンを投与する。
- ・ワクチン投与後の予防発症数ゼロの状態を3年間維持する。
- ・世界中でポリオ予防接種が終了する。



ポリオをめぐる世界は今・・・

ポリオ根絶まで「あと少し」となっておりまいた。

しかしながら根絶を迎えるまでは、**今後も毎年多額の資金が必要です。また、不安定な政治環境や気候変動等による災害もあり、まだまだ予断を許さない状況でもあります。**

つきましては、多くの会員様に「ポリオプラス・ソサエティ」にご参加いただきますよう、なにとぞよろしくお願いいたします。



ポリオプラス・ソサエティとは



「ポリオプラス」に毎年**100ドル**の寄付をご支援くださる会員を認証するプログラムで、すでに多くの国々の会員が参加しています。

この寄付は、ポール・ハリス・フェローの対象となります。

また、ゲイツ財団による「2倍上乗せ」の対象にもなっています。



ロータリーカードを使った寄付

クラブ事務局は・・・
ダイナースの「ロータリーカード」
(クラブ用)を使って
まとめてカード決済することも可能です。



お勧めは、オリコスタンダードカードです。

個人にお勧めなのはオリコスタンダードカードです。

特徴は、年会費無料でご負担なくご使用頂けます。

皆様が普段お使いのPayPayやクイックペイなどの携帯電話の電子決済のお支払いにロータリーオリコマスターカードを登録して頂きますとPayPayご使用時にお使いになられた金額の0.3%がポリオ根絶資金として使用されます。

当地区では今年度から新しい取り組み方として電子決済にもロータリーオリコマスターカードをお支払いに使用して頂くことを推奨しています。



ポリオ根絶まであと少しです。

ポリオ根絶までは、決して資金を止めてしまうことはできません。
皆様のあたたかい募金がポリオをこの世から根絶することを願います！
根絶宣言が出るまでポリオプラス募金をよろしくお願いいたします！

寄付金の分類は、
「**ポリオプラス寄付**」と指定

